

第 13 回北信越錬成大会(全日本弓道選手権大会) 石川県代表選手選考会結果

日時：令和 6 年 6 月 2 日（日） 9：00～14：00

会場：石川県立武道館弓道場

審判団：水橋会長、木下(外)副会長、木下(鋼)副会長、宮本副会長

参加者：男性 13 名 女性 15 名 計 28 名

7 月 21 日（日）に富山市で開催される第 13 回北信越錬成大会の代表選手、男子 5 名、女子 5 名が以下の通りに決定しました。北信越錬成大会（北信越ブロック予選会）において、第 75 回全日本男子弓道選手権大会・第 57 回全日本女子弓道選手権大会の北信越ブロック代表男女 5 名が決定します。

男子

咲川 雅敏 錬士六段（金沢市）
勝二 秀典 錬士六段（宝達志水町）
曽山 良和 教士六段（中能登町）
中條 大輔 教士七段（羽咋市）
友安 正人 教士七段（金沢市）

女子

浅香 直美 錬士五段（小松市）
越能 公子 教士七段（金沢市）
坂本 祐子 教士七段（金沢市）
中村 裕美 錬士六段（金沢市）
山本真理子 教士七段（能美市）

※五十音順

代表選手



第 13 回北信越錬成大会 令和 6 年 7 月 21 日（日） 開催地：富山市

県予選会参加者は、男子が昨年比－1名の13名、女子が昨年比＋2名の15名、計28名の参加でした。

当日は、弓具検査、開会式と進み、開会式で水橋会長から、弓具検査で気になった点について話がありました。違反しているものは無かったが、矢擦り籐は、ぎりぎりで長さを測られるようなものではなく、一目見て問題がないと判断できるような長さが望ましい。また、なんとなく隙間が開いていたり、ちょっとした汚れがあったり、目印と疑われても仕方がないようなものもありました。皆さんのお使いの道具は磨いて欲しい。握り皮がなんとなく汚れている、関板が剥がれているということがないように、道具は大事に丁寧に扱ってください。弓も矢も自分の技も磨いて、堂々と選手権で入賞してきて欲しい。今日は、誰が予選を通過してもおかしくないレベルだと思いますので、頑張ってくださいと激励の後、競技が開始されました。



予選は、男子3立、女子3立で各自一手2回を審査の間合いで行います。予選は午前中に終了し、得点上位者として、男子は曾山選手、友安選手、女子は越能選手、山本選手が代表に決定しました。

最高得点は男子が曾山選手、女子は越能選手が獲得しました。



男子最高得点 曾山選手



女子最高得点 越能選手

残る3枠は、予選3位～7位の選手で決勝を行い、的中上位3名が代表となります。決勝に進出したのは、男子が西田俊選手、中條選手、咲川選手、道越選手、勝二選手、女子が中村選手、浅香選手、木村選手、坂本選手、山口選手が決勝に駒を進めました。昼食休憩の後に、競技が再開されました。緊張感が漂う中、1回目終了しましたが、全体的に的中が伸びません。束中したのは、男子が勝二選手、女子は中村選手の2名だけでした。

2回目も的中が伸びません。女子の中村選手だけが的中を重ねたが、それ以外は最後までわからない展開となりました。

男子の3回目、全員甲矢を失中、最後の最後までわからない展開となりましたが、留め矢をしっかりと的中させた、中條選手、咲川選手、勝二選手が代表権を獲得しました。女子は中村選手が全体を通して唯一皆中で代表権を獲得し、残す2枠の代表権は、こちらも留め矢をしっかりと的中させた坂本選手、浅香選手が獲得しました。



牧野理事長より代表選手の発表後、水橋会長より講評をいただいて、閉会となりました。

－水橋会長 講評－

選ばれた選手の皆さんは7月にある富山県での北信越錬成大会を目指して、頑張ってください。あえて言わなくても良いと思うが、今日も的中率が低かった。予選も決勝も4割行くか行かないかの寂しい結果でした。こういう状況では北信越では残ることができません。体調、その他を点数として見られますが、的中のない射はまず評価されません。参考までに昨年の全弓連月刊弓道誌に掲載されていたことを紹介します。

- ・もっと個性を出してもいいが、大一番で「のるかそるか」の表現でやって欲しい。
- ・あて弓に走っては駄目、これが私の弓だというのが感じられない。採点を意識せずに思いっきり引いて欲しい。
- ・プレッシャーがかかる場で弓道の真価が問われる。その状況に打ち克つような修練を積んで欲しい。
- ・見ている人達がどういふ離れになるのかなと注目を引きつけるような射をして欲しい。

これは中央であれ、地方であれ同じことだといつも感じている。

全体的に身体が縮んだような射が多かった。的中率が悪いというのは、どうしてなのか、恐らく最後の最後に会で詰め合って伸び合って、集中して、そこからもう一つ伸びる。的枠に近づいていようが遠く離れていようが外れは外れです。28m 36cm 的的中の中に当然入るのが弓道だという修練をして欲しい。一本一本を大事に、その常日頃の中に会での集中、これをもうちょっと頑張っただけで欲しい。早気で中っても点数になりません。北信越でも中央の大会でも会が短い人はまず評価されないということを頭の中に刻んでおいてください。その他に気になった点として、本座での揖の所作が違っている人がみられた。全弓連の徽章をつける位置が低すぎる人も一部見られた。月刊弓道誌はぜひとも購読して欲しい。